

報道資料

5.1ch で Dolby Atmos[®]*1 と DTS:X[™] に対応、ネットワーク機能も充実
 自動音場補正技術「MCACC[®]*2」と「サラウンドエンハンサー[®]*1」により手軽にオブジェクトオーディオ再生を実現
 ～ 次世代映像規格の“HDR10”や“Dolby Vision[™]”とともに、“Chromecast”にも対応～



商品名	型番	希望小売価格(税別)	発売予定時期
AVレシーバー	VSX-832(B)	65,000 円	4月上旬

オンキヨー & パイオニアマーケティングジャパン株式会社(所在地:東京都中央区、代表取締役社長:池田 達史)は、5.1ch モデルでありながら Dolby Atmos[®]*1 と DTS:X に対応し、独自の自動音場補正技術「MCACC」や「サラウンドエンハンサー[®]*1」モードにより手軽に話題のオブジェクトオーディオ対応の映画などを楽しめる Pioneer ブランドの AV レシーバー「VSX-832(B)」を発売します。

本機は、3.1.2ch または 2.1.2ch の Dolby Atmos、DTS:X の再生に対応し、「サラウンドエンハンサー」モードを装備。Dolby 社開発の技術を使用した「サラウンドエンハンサー」はサラウンドスピーカーの仮想音像を創り出すことで、5.1.2ch の Dolby Atmos 本来の臨場感をお楽しみいただけるモードです。また、自動音場補正技術「MCACC」により、高精度に音場を補正し理想的な再生環境に整えることで、どなたでも手軽に臨場感あふれるサラウンド空間を構築できます。

高性能 DAC の搭載により、WAV/FLAC/DSD などのハイレゾ音源やサラウンド音声を高音質に再生。Chromecast 搭載[®]*1 や最新のネットワーク機能に対応するとともに、混信の少ないデュアルバンド対応の Wi-Fi[®] 機能や Bluetooth[®] 無線技術の搭載により、さまざまな音源をワイヤレスで楽しめます。また、4K や最新の映像規格である“HDR10”、“Dolby Vision”、“HDCP 2.2”にも対応しており、Ultra HD ブルーレイ[™] などの高画質ソースをはじめ、さまざまな映像を高品位に楽しめます。さらに、前モデルより引き継いだ GUI や“セットアップガイド”により、ネットワーク設定や本機の初期設定を簡単に行えます。

【主な特長】

■Dolby Atmos[®]*1 や DTS:X のオブジェクトオーディオに対応

これまで 7ch 以上の AV レシーバーでのみ対応していた Dolby Atmos[®]*1 や DTS:X の再生に対応。話題のオブジェクトオーディオが 3.1.2ch または 2.1.2ch で楽しめます。Dolby Atmos イネーブルドスピーカーを使用すれば、天井にスピーカーを設置すること無くフロント側のスピーカーのみでオブジェクトオーディオ再生環境が構築できます。

■音場を広げる「サラウンドエンハンサー」モード

Dolby 社が開発した技術を用いた「サラウンドエンハンサー」モードを搭載。人は音が左右の耳に届く時間差や強弱などを認識して、方向性や距離感などの空間把握を行っています。「サラウンドエンハンサー」モードはこのしくみを利用し、サラウンドスピーカーの音像を仮想的に創り出します。Dolby Atmos はもとより従来の DVD や CD などの音源をアップミックスしたサウンドも仮想 5.1.2ch の音場空間でオブジェクトオーディオならではの包み込まれるような臨場感で楽しむことができます。

■高品位なサラウンド再生を楽しめる自動音場補正技術「MCACC」[®]と「Reflex Optimizer」[®]を搭載

集音マイクを使用した“周波数”と“音圧レベル”の測定により、高精度な音場補正を行うことで、高品位なサラウンド再生を実現します。
 独自に開発した「フェイズコントロール」技術に基づき、マルチチャンネル再生で発生する低音の遅れを解消することで、原音に忠実な力強い低音を再現し、マルチチャンネル再生時の音質を飛躍的に向上させ、躍動感や実体感が際立つサラウンド再生を実現します。

オンキヨー & パイオニア マーケティングジャパン株式会社

- ・「Reflex Optimizer」を搭載しており、Dolby Atmos イネーブルドスピーカー使用時に、天井に反射する帯域の音と、スピーカーから直接聴こえる帯域の音との間のわずかな時間差によって生じる位相ズレを補正します。Dolby Atmos イネーブルドスピーカーを使うことで、その他のスピーカーと一体となった最適な音場空間を実現します。

■回路設計の細部まで見直しを図り、音質の向上を実現

- ・全チャンネルに高性能 DAC (AK4438) を搭載し、多様な音源の再生に対応するとともに、5ch にハイパワー (160W/ch) を出力できるパワーアンプを搭載することで、音質の向上を実現しています。

■“HDR10”、“Dolby Vision”信号の伝送や著作権保護規格“HDCP 2.2”に対応

- ・4K/60p/4:4:4 映像信号の伝送と著作権保護規格“HDCP 2.2”に全 HDMI 端子に対応。
- ・最新 HDR (High Dynamic Range) ^{※3}規格の“HDR10”、“Dolby Vision”および“BT.2020”^{※4}信号の伝送に対応。対応映像機器と TV に接続し、より自然でいきいきとした高画質映像を楽しめます。
- ・BD プレーヤー“BDP-LX シリーズ”の開発で培った超解像 4K 技術を取り入れ、HD 画質のコンテンツをアップスケーリングすることで 4K 映像信号の画質で楽しめる“Super Resolution”を搭載。

■スマートフォンを使って多彩な音楽を楽しめる“Chromecast^{※1}”とインターネットラジオ“radiko.jp”などに対応

- ・“Chromecast 搭載^{※1}”により、お手持ちの iPhone、iPad や AndroidTM スマートフォン、Android タブレットにインストールした“Chromecast”対応アプリケーションや Chrome ブラウザーから簡単操作でお気に入りの楽曲を本機に送信し、さまざまな音楽を手軽に楽しめます。
- ・“radiko.jp”、“TuneIn”といったインターネットラジオにも対応しており、国内はもちろん、世界中の放送局のプログラムを手軽にいつでも楽しむことができます^{※5}。

■多様なハイレゾ音源の再生に対応

- ・192kHz/24bit までの FLAC/WAV/AIFF/Apple lossless ファイル (2ch) や Dolby True HD ファイル (2ch, 3.1ch, 5.1ch, 7.1ch) ^{※6}、5.6MHz、2.8MHz の DSD ファイル^{※7} 再生に対応。多様なハイレゾ音源の再生を楽しめます。

■Wi-Fi・Bluetooth®無線技術の搭載により、快適で高音質なワイヤレスオーディオ再生を実現

- ・5GHz (11a/n)、2.4GHz (11b/g/n) のデュアルバンドに対応した Wi-Fi 接続により、途切れにくい伝送を実現することで、さまざまな音源をワイヤレスで楽しめます^{※8}。
- ・Bluetooth®無線技術による楽曲のワイヤレス再生が可能で、スマートに音楽を楽しめます。

■操作性を向上し、初期設定も分かりやすい GUI (グラフィカルユーザーインターフェース)を採用

- ・ネットワーク情報/システム設定/「MCACC」関連メニューを表示するトップページに、各項目へ一目でアクセスできる GUI デザインを採用。各機能のメニュー画面にもわかりやすいグラフィック表示を採用し、操作性を向上するとともに、“セットアップガイド”により、ネットワーク設定や本機の初期設定を簡単に行えます。

■その他の特長

- ・AirPlay に対応
- ・コントロールアプリケーション「Pioneer Remote」^{※9※10} に対応
- ・FM/AM チューナー (40 局プリセット) を内蔵

※1 ファームウェアのアップデートによる対応となります。アップデート時期は当社 Web サイト (<http://www.jp.onkyo.com/>) でお知らせします。

※2 MCACC=Multi-Channel Acoustic Calibration System (自動音場補正システム)。「MCACC」は、録音スタジオにおけるモニタリング手法と同一レベルの音場調整を行うことができる当社独自の音場補正技術です。

※3 HDR とは、映像の最大輝度を拡張する技術。“Ultra HD ブルーレイTM”規格では HDR 技術を使用して、最大輝度を 100nit から 10,000nit に拡張。

※4 BT.2020 とは、現在の Blu-ray など で用いられる BT.709 に比べ、2 倍以上の広い色空間をカバーした映像フォーマット規格。

※5 インターネットラジオを聴くには、インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が必要です。「radiko.jp」の対応 (聴取可能) エリア、対応放送局については、「radiko.jp」のサイト (<http://radiko.jp/>) をご覧ください。

※6 USB メモリーからの再生時になります。

※7 DSD ファイルは PCM 変換での再生になります。有線ネットワーク、または USB メモリーからの再生時になります。

※8 Wi-Fi 規格に対応した無線 LAN のネットワーク環境が整っていること、および Wi-Fi での接続が必要です。

※9 App Store から無償でダウンロードできます。使用に際しては、Wi-Fi 規格に対応した無線 LAN のネットワーク環境が整っていることが必要です。

※10 「Pioneer Remote」の Android 版は、Google Play から無償でダウンロードできます。

*本機は、「フェイズコントロール」技術を採用しています。本技術を適用した製品にはフェイズコントロールマークが付与されます。「フェイズコントロール」技術とは、ソフト制作時や再生時に発生する「低音のズレ」(時間の遅れ、および位相のズレ)を解消する技術です。

*「Pioneer」および「Pioneer」ロゴ、「MCACC」および「MCACC」ロゴ、「フェイズコントロール」および「フェイズコントロール」マークは、パイオニア株式会社の商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

*Dolby、Dolby Atmos および Dolby Vision は、ドルビーラボラトリーの商標です。

- *DTS、DTS-HD、記号、および DTS または DTS-HD と記号の組み合わせは DTS 社の登録商標です。©DTS 社不許複製。
- *Blu-ray Disc™(ブルーレイディスク)、Blu-ray™(ブルーレイ)及び Ultra HD Blu-ray™(Ultra HD ブルーレイ)は、ブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- *Apple、AirPlay、iPad は米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- *iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- *App Store は Apple Inc.のサービスマークです。
- *Android、Google Play、Chromecast は、Google Inc.の商標です。
- *HDMI と HDMI High-Definition Multimedia Interface という用語、および HDMI ロゴは、HDMI Licensin,LLC の米国その他の国々における商標または登録商標です。
- *HighSpeed HDMI Cable 以外の HDMI ケーブルを使用した場合は、HDMI によるコントロール機能が正しく動作しないことがあります。
- *Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG.Inc.が所有する登録商標です。
- *“Wi-Fi”は、“Wi-Fi Alliance”の商標または登録商標です。
- *その他の会社名、商品名、技術名、トレードマークおよび商号は、各社の商標または登録商標です。

【主な仕様】

■オーディオ特性	
実用最大出力	フロント/センター/サラウンド：160 W/ch (JEITA、6 Ω、1 kHz、THD 10 %、1ch 駆動時)
定格出力	80 W/ch (20 Hz～20 kHz、THD 0.08 %、8 Ω、2ch 駆動時)
■主な入出力端子	
HDMI端子	4 入力/1 出力 (すべてHDCP2.2対応)
デジタル入力端子	同軸 1 系統、光 1 系統
アナログ音声入力端子	3系統 (フロントx1[φ3.5mm ステレオミニジャック]、リアx2)
アナログ映像入力端子	コンポジット 2 系統
プリアウト出力端子	サブウーファープリアウトx1
USB入力端子	2 系統(フロントx1、リアx1)
LAN端子	1 系統(10BASE-T/100BASE-TX)
アンテナ端子	FMx1、AMx1
スピーカー端子	5
ヘッドホン端子	1 (フロント)
MCACCセットアップマイク端子	1 (フロント)
■ネットワーク仕様	
Wi-Fi	○ (5GHz/2.4GHz デュアルバンド対応)
Bluetooth®無線技術	○
■その他	
外形寸法(W×H×D)	435 mm × 173 mm × 320.5 mm
本体質量	8.6 kg
消費電力	300 W
待機時消費電力	0.1 W (スタンバイ状態) / 2.6 W(ネットワークスタンバイ ON 時)

※ 詳しい製品情報は以下の製品のホームページをご覧ください。
<http://pioneer-audiovisual.com/components/avamp/vsx-832/>